

伊那市美術館協議会会議録

件名	令和6年度 第1回 伊那市美術館協議会
----	---------------------

日時	令和6年7月24日（水）午前9時57分～10時47分		
場所	信州高遠美術館 2階 研修室		
処理期限	年 月 日	処理月日	年 月 日

出席者

関係者		教育委員会	
職名	氏名	職名	氏名
職務代理者 委員	北原 秀志 伊東 重明 山崎 重幸 中山 勝司 黒河内 京子 今牧 博美 原 未那美 伊藤 仁八	教育長 教育次長 生涯学習課長 美術館館長 美術館副館長 美術館職員	福與 雅寿 三澤 豊 矢澤 浩幸 武井 文一 馬場 文教 小松 由以
欠席者 会長	大脇 弘造		

1 開 会 教育次長

2 委嘱書の交付

3 あいさつ 教育長

昨日までのうだるような暑さから一転、本日は雨で、天気の変り変わりが激しい日が続いている。

略式ながら、美術館協議会委員の委嘱書を机上に配布させていただいた。今回、新たにお願いした委員も含め、2年間よろしくお願いしたい。協議会の開催は、概ね7月と3月の年2回、美術館の運営についてご指導とご協力をお願いしたい。

直近の美術館の取り組みを紹介すると、高遠出身の日本画家・池上秀畝の生誕150年で、高遠町歴史博物館や伊那市創造館、県伊那文化会館、市外では長野県立美術館や東京都の練馬区立美術館とともに連携して展覧会を開催。観桜期の開催、また、池上秀畝カードを集めて県立美術館の入場券引換券を獲得する企画も相まって、各館とも予想以上の入場者となった。郷土の偉人である池上秀畝を、市内外の多くの方々に知っていただく機会となったと感じている。

信州高遠美術館が多くの皆さんが利用する素晴らしい美術館になり、ひいては伊那市の文化芸術の向上にもつながるよう、忌憚のないご意見をいただければと思う。

4 自己紹介 委員、教育委員会職員、美術館職員の順に自己紹介

5 会長、職務代理者の選任について

(事務局から資料により説明)

美術館協議会の委員は資料内名簿のとおりであり、今回、「信州高遠美術館美術資料等収集要綱」に則り、委員の中から美術資料等選定部会の委員を選任させていただいた。美術館が収集する美術資料等の選定及び評価が必要な案件があった場合、選定部会の皆さんにはご協力をお願いしたい。

美術館協議会は、伊那市美術館条例に定められているところであり、博物館法23条により、館長の諮問に応じて意見を述べる機関として位置づけられている。今回、伊那市美術館条例に則り、美術館協議会の会長と職務代理者の選任をお願いしたい。

・生涯学習課長

規定では会長は委員が互選するとあるが、いかようにしたらよいか。

委員から意見が無ければ、事務局から提案してよいか。

(「事務局一任」の声)

・事務局

事務局案として、会長は伊那美術協会から推薦いただいた大脇弘造氏に引き続きお願いしたいと考えているがよろしいか。

(承認)

・生涯学習課長

職務代理者は会長が指名することになっているが、本日、大脇会長が急用で欠席である。ついては、あらかじめ大脇氏が会長に選任された際に発表するよう、職務代理者の指名を承っているので、ここで発表したい。前年に引き続き長谷公民館長の北原秀志氏にお願いしたい。

・職務代理者あいさつ

前期に引き続いて、皆様のお力をお借りして努めてまいりたいと思う。よろしく願います。

6 協議事項 (進行 職務代理者)

(1) 令和6年度事業について

(事務局から資料により説明)

- ・『気韻生動』の画人 池上秀畝生誕 150 年展」の入館者数は 5,117 人で、昨年同時期に開催した片岡鶴太郎展の 5,468 人に匹敵する入館者数であった。鶴太郎展は一般の入館料が 800 円設定であったが、経費が多くかかったこともあり 100 万円強の赤字となった。今年の秀畝展では入館料 500 円の設定であったが、収蔵作品の展示ということもあって 85 万円弱の黒字となった。
- ・「美術交流展 2024in 高遠」は、会期中の入館者数が 358 人で、昨年の 422 人を下回った。会期中、入館料は無料とし、主催者側から貸館料をいただいでの開催。11 月開催予定の「ギャラリー円室企画展」も同様の貸館事業となる。
- ・「若手アーティスト展 麓芸落合」は、若手作家を応援する事業として立ち上げ、今回で 7 回目の開催。伊那市出身の清水恵さんを中心に企画していただく。
- ・「地域のお宝展Ⅱ」は、昨年に引き続き 2 回目の開催。昨年は、伊那市の施設や学校から作品をお借りしての展示であった。今年は個人が所有している作品を中心に展示する。第一展示室と第二展示室を会場とする予定だが、現行では展示室ごとに会期の始まりにずれが生じるため、別の所蔵作品の展示を入れるなどして調整し、12 月 8 日(日)からの会期に統一する予定。
- ・「収蔵作品秀作展～伊那に伝わる美の系譜～」は、郷土作家・原田コレクション、美術館に関わりのある作家の作品を展示予定。また、令和 7 年が昭和 100 年の年にあたるため、そういった視点も入れながら企画したい。

会議の内容

- ・市民ギャラリー展は、展示室に連動して開催している展覧会もあるが、地域で創作活動をしている人のために無料で発表の場を提供するという趣旨で行っている。
- ・令和7年2月5日から3月2日まで予定している「池上秀畝の魅力を伝える小中学校秀作展」は、秀畝展の開催をきっかけにして伊那市 ICT 活用教育推進センターが秀畝のスケッチ帳をデジタルブック化したところから始まった。本展は、このデジタルブックを教育に活用してもらうための事業の一環として行う。現在、市内中学校6校を中心に、秀畝をプロデュースする作品を子どもたちに制作してもらう取り組みを行っている。美術館では募集して集まった作品のうち、秀作を展示する予定。
- ・ミュージアムコンサートはコロナ禍が明けて令和1年以来開催する。
- ・伊那市×東京藝術大学デザインプロジェクト事業は、平成29年からコロナ禍での休止を挟んで5回子ども向けのワークショップを開催している。昨年はアニメーション作品を制作。今年は高遠焼と創造館収蔵の国の重要文化財「顔面付釣手形土器」を掛け合わせたアート作品を制作する。

(質疑応答)

・委員

コロナ禍明け久々のコンサートということで大変楽しみだ。秀畝展も大変盛況とのことで、よいスタートができたのではないかと思う。「池上秀畝の魅力を伝える小中学校秀作展」は、小中学生を巻き込んだいい取り組みかと思う。本展に出品される作品はどんな形式のものになるのか。イメージでよいので教えてもらいたい。

・事務局

映像や立体、絵画など、作品の形式は限定しないが、デジタルブックにした秀畝のスケッチをもとにして作品を制作してもらう。事前学習で秀畝の人となりや作品についてまず知ってもらい、子どもたちそれぞれに秀畝や作品の魅力を見つけてもらいたい。そして、その魅力を伝えられる表現形式を選択して、作品にしてもらう。難しい課題だと思うが、どんな作品が出てくるのか、楽しみでもある。

・委員

伊那市の中学校には上伊那教育会美術研究委員会の先生たちがいるので、しっかりタイアップして、良い作品が出てくるのではないかと思う。

・委員

「地域のお宝展Ⅱ」は、どんなものを展示するのか。美術館から出品依頼があるのか。それとも所有者が出品したい作品を持ち寄るのか。

・事務局

作家の選定は郷土作家のくくりで行う。郷土作家作品の愛好家グループである「芝田会」より、会員が所有している作品を貸し出すので、美術館で展覧会を企画してほしい旨の話があり、昨年から開催している「地域の

お宝展」として開催することになった。まずは芝田会に所有している作品をリストアップしてもらい、その中から美術館が展示作品を選定する。

・委員

今年開催した楽☆楽講座の参加者数はどうなっているか。

・事務局

刺繍講座は9人、ポーセラーツ講座は10人と、ほぼ定員通りの参加者数となっている。

(承認)

(2) 令和7年度事業について

(事務局から資料により説明)

1 企画展

(1) 「収蔵作品秀作展～伊那に伝わる美の系譜～」(全館)

3月8日(土)～5月18日(日)

(2) 【貸館】「美術交流展2025 in 高遠」(第1展示室)

5月25日(日)～6月8日(日)

(3) 「収蔵作品展」(第2展示室) 5月25日(日)～7月27日(日)

(4) 「収蔵作品展」(第1展示室) 6月14日(土)～7月27日(日)

(5) 「若手アーティスト展」(全館) 8月2日(土)～10月5日(日)

(6) 【貸館】「ギャラリー円室企画展」(第1展示室)

10月11日(土)～10月26日(日)

(7) 「郷土作家展」(第2展示室) 10月11日(土)～11月29日(土)

(8) 「郷土作家展」(第1展示室) 11月1日(土)～11月29日(土)

※ LED照明改修工事(12月1日～3月1日)

(9) 「収蔵作品秀作展」(全館) 3月7日(土)～5月17日(日)

・収蔵作品展については内容を検討中。今後まとめていきたい。

2 市民ギャラリー展

(1) 「収蔵作品秀作展」 3月8日(土)～5月18日(日)

(2) 「美術交流展2025 in 高遠」 5月25日(日)～6月8日(日)

(3) 「高遠三女展」 6月14日(土)～7月2日(水)

(4) 「天野マサカツ個展」 7月6日(日)～7月27日(日)

(5) 「若手アーティスト展」 8月2日(土)～10月5日(日)

(6) 「ギャラリー円室企画展」 10月11日(土)～10月26日(日)

(7) 「収蔵作品秀作展」 3月7日(土)～5月17日(日)

3 その他

(1) アートスクール

(2) 楽☆楽講座

(3) ミュージアムコンサート

会
議
の
内
容

- (4) 貸館事業
- (5) 東京藝術大学連携事業
- (6) 施設整備

- ・LED照明改修工事 工事期間中、展示は休止となる。

(3) 令和7年度展示室貸館規程に基づく展覧会の承認について

(事務局から資料により説明)

- ・「美術交流展 2025in 高遠」は、県内外の作家による交流展。2025年展で10回目の開催となる
- ・「ギャラリー円室企画展」は、令和4年度から4回目の開催となる。

(質疑・意見なし 承認)

7 報告事項

(1) 美術品の寄附及び購入について

(事務局から資料により説明)

1 寄附作品

- (1)内田 文臯／(鳥)／紙本着色／二曲屏風
- (2)内田 文臯／(花鳥・里芋)／絹本着色／軸装
- (3)池上 秀畝／(書)／紙本墨書／軸装
- (4)細合 秀穀／春野雙雉図／絹本着色／軸装
- (5)中島 覚雄／ハイビスカス／ペン・顔料／色紙
- (6)三澤 久夫／安曇野五月／油彩・画布／額装
- (7)三澤 久夫／駒ヶ根五月／油彩・画布／額装
- (8)山岸 主計／ふる里／絹本着色・墨書／軸装

2 寄託作品

- (1)江崎 孝坪／山之秋／紙本着色／屏風
- (2)江崎 孝坪／高野草創／紙本着色／屏風

(質疑・意見なし 承認)

8 その他

・事務局

寄託の江崎孝坪作品2点については購入を検討しており、秋頃に作品の購入について選定部会を開きたいと考えているので、選定部会の皆さんにはご協力をお願いしたい。

9 閉会 教育次長